

投票立会人と語る会



昨年の衆議院選挙の投票率は、鳥取市全体では六八・四%。これに比べて二十代前半の人は三五・七%ときわめて低い状況となっています。
 なぜ、若者の投票率は低いのか。どうすれば、投票率が上がるのか。選挙管理委員会と明るい選挙推進協議会は、七月二十九日に予定されている参議院選挙を控え、二十代の若者の意見を直接聴くため、「二十代投票立会人と語る会」を開催しました。

「20代投票立会人と語る会」参加者 (敬称略)

20代投票立会人	
桑村 香織	但住 圭子
松本 正	邨上 寿和
平家 陽子	小林 加奈
森 あずま	三田 哲子
秋月 栄美 <small>(鳥取環境大学生)</small>	石田 洋 <small>(鳥取環境大学生)</small>
明るい選挙推進協議会	
松本 兵衛	森西 辰良
佐竹 安次郎	小林 達生
選挙管理委員会委員	
濱田 三代子	酒井 勝

投票立会人を 経験した感想は

投票に来る人は、本当に高齢の人が多しなと感じました。投票所は、車椅子や障害のある人たちも投票しやすいような環境が整えられていて、バリアフリー対策が施されているなと思いました。
若い人が本当に来ないということを実感しました。また、仕事が終わってから来る人が意外に多くて、夕方・夜間の投票時間の必要性を感じました。
自分で思っていたよりもすごく選挙を身近に感じました。

ました。普段、有権者としてしか関われない選挙をまた違う角度から見ることができ、貴重な経験になりました。

選挙は、堅いとか、難しいものと思っていましたが、投票の立会人をやってみて、みなさん、結構リラックスして投票にのぞまれていることがわかりました。

選挙のイメージは

選挙は敷居が高く、大人の特権というイメージが子どもの頃からありました。でも、二十歳になって実際に投票所に行ってみたら、案外、短時間で済むし、そんなに難